

定期調査報告書

(第一面)

建築基準法第12条第1項の規定による定期調査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は、事実に相違ありません。

特定行政庁
四日市市長

報告者＝管理者

年 月 日

提出時に受付で記入

調査者が2人以上
の場合は、代表とな
る調査者を記載。

報告者氏名

株式会社四日市ホテル
代表取締役 諏訪 太郎

調査者氏名

四日市 三郎

報告者、検査者とも
に、押印は不要です。

【1.所有者】

【イ.氏名のフリガナ】 カブシキガイシャ ヨッカイチホテル タビヒョウトリシマリヤク スワ タロウ
【ロ.氏名】 株式会社 四日市ホテル 代表取締役 諏訪 太郎
【ハ.郵便番号】 ○○○-○○○○
【ニ.住所】 ○○県○○市○○町○○○番地
【ホ.電話番号】 ○○○-○○○-○○○○

【2.管理者】

【イ.氏名のフリガナ】
【ロ.氏名】 所有者と同じ
【ハ.郵便番号】
【ニ.住所】
【ホ.電話番号】

所有者と同じ場合、このよう
に記載しても構いません。

「管理者」とは、
建築物に関して維持管理上
の責任のある立場の者をい
います。

(日常的な管理(清掃・保全
会社との打合せ等)のみを
行っている人ではない。)

【3.調査者】

(代表となる調査者)

【イ.資格】 (一級) 建築士 (大臣) 登録 第 123456 号
特定建築物調査員 第 号

【ロ.氏名のフリガナ】 ヨッカイチ サブロー
【ハ.氏名】 四日市 三郎
【ニ.勤務先】 ○○建築設計事務所
(一級) 建築士事務所 (三重県) 知事登録 第 ○○○○ 号
【ホ.郵便番号】 510-○○○○
【ヘ.所在地】 四日市市○○町○○○番地
【ト.電話番号】 059-○○○-○○○○ (FAX 059-○○○-○○○○)

FAX番号を併記。

特定建築物調査員の場合、
資格者証の写しの添付が必
要です。

(その他の調査者)
【イ.資格】 () 建築士 () 登録 第 号
特定建築物調査員 第 A12345678 号

調査者が1人の場合
は記入不要。
3人以上の場合は、
欄を追加又は別紙に
記載。
(資格を持たない調査
補助員については記
載不要です。)

【ロ.氏名のフリガナ】 ミエ シロウ
【ハ.氏名】 三重 四郎
【ニ.勤務先】 △△建築調査センター
() 建築士事務所 () 知事登録 第 号
【ホ.郵便番号】 510-△△△△
【ヘ.所在地】 四日市市△△町△△△番地
【ト.電話番号】 059-△△△-△△△△

【4.報告対象建築物】

【イ.所在地】 四日市市○○町○丁目○○○
【ロ.名称のフリガナ】 ヨッカイチホテル
【ハ.名称】 四日市ホテル
【ニ.用途】 ホテル、物販店舗

住居表示で記入

要是正のみが一つでもあれ
ば、チェックしない。

【5.調査による指摘の概要】

【イ.指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
【ロ.指摘の概要】 非常照明不点灯
【ハ.改善予定の有無】 有 (令和 ○ 年 ○ 月 に改善予定) 無
【ニ.その他特記事項】

第三面2欄において、「要是
正の指摘あり」の指摘事項
について、要約して列記する。
書き切れない場合は、項目
のみでも可。

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日		
第 号		
係員印		

※受付欄は、1面が追加され2枚
に渡っても、報告書の1枚目に配
置してください。

改善予定年月のうち最も早
いものを記載。

今回調査が終了した年月日を記入。この日から3ヶ月以内に報告書を提出。

(第三面)

報告の対象となっていない場合は、「対象外」にチェック。

調査等の概要

【1.調査及び検査の状況】

- 【イ.今回の調査】 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 実施
- 【ロ.前回の調査】 実施 (令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日) 未実施 対象外
- 【ハ.建築設備の検査】(前回) 実施 (令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日) 未実施 対象外
- 【ニ.昇降機等の検査】 実施 (令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日) 未実施 設置なし
- 【ホ.防火設備の検査】 実施 (令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日) 未実施 設置なし

報告の対象となる設備が設置されていない場合は、「設置なし」にチェック。

【2.調査の状況】

直前の実施日(報告日でも可)を記入。

(敷地及び地盤)

- 【イ.指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ.指摘の概要】
- 【ハ.改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

(建築物の外部)

- 【イ.指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ.指摘の概要】
- 【ハ.改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

(屋上及び屋根)

- 【イ.指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ.指摘の概要】
- 【ハ.改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

全て既存不適格のみの場合にチェック。

(建築物の内部)

- 【イ.指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ.指摘の概要】
- 【ハ.改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

全て既存不適格のみの場合は、指摘の概要は記入不要。

(避難施設等)

- 【イ.指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ.指摘の概要】 非常照明不点灯
- 【ハ.改善予定の有無】 有 (令和 ○ 年 ○ 月に改善予定) 無

要是正の指摘がある場合は、改善予定について記入。

(その他)

- 【イ.指摘の内容】 要是正の指摘あり (既存不適格) 指摘なし
- 【ロ.指摘の概要】
- 【ハ.改善予定の有無】 有 (年 月に改善予定) 無

石渡を添加した建築材料で報告を要するものは、吹付石綿及び吹付ロックウールで含有する石綿の重量が当該建築材料の重量の0.1%を超えるもの。

【3.石綿を添加した建築材料の調査状況】

- (該当する室)
- 【イ.該当建築材料の有無】 有 (飛散防止措置無) (B1階 機械室)
- 有 (飛散防止措置有) ()
- 無

- 【ロ.措置予定の有無】 有 (令和 ○ 年 ○ 月に改善予定) 無

昭和56年6月以降の新耐震基準の設計による場合は、「対象外」にチェック。

【4.耐震診断及び耐震改修の調査状況】

- 【イ.耐震診断の実施の有無】 有 無 (年 月に実施予定) 対象外
- 【ロ.耐震改修の実施の有無】 有 無 (年 月に実施予定) 対象外

【5.建築物等に係る不具合等の状況】

- 【イ.不具合等】 有 無
- 【ロ.不具合等の記録】 有 無
- 【ハ.改善の状況】 実施済 改善予定 (年 月に改善予定) 予定なし

前回調査時以降に把握した不具合だけを記入。

【6.備考】

外壁全面打診調査 平成30年10月実施

調査項目2(11)が対象の場合、外壁の全面打診調査等を実施した日を記入。

整理番号 旅○○

通知文に記載の整理番号を記入。

「不具合」とは、所有者・管理者からヒアリングにより把握した屋根ふき材、内装材、外装材等及び広告塔、装飾灯その他建築物の屋外に取り付けられたものの脱落、バルコニー、屋上等の手すりその他建築物の部分の脱落、防火設備等の異常作動等、建築物の状態変化に起因するもの。

(第四面)

建築物等に係る不具合等の状況

不具合等を把握した年月	不具合等の概要	考えられる原因	改善(予定)年月	改善措置の概要等

調査結果表の要是正の指摘は、不具合に含まない。

整理番号 旅〇〇

通知文に記載の整理番号を記入。